

科目名	単位数	学年・クラス	使用教科書
生物	2	4F選択	改訂 生物(生物311) 第一学習社

## 1 学習の目標等

4. 環境の変化に生物が反応していることについて観察、実験などを通して探究し、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解させる。
5. 生物の個体群と群集及び生態系について観察、実験などを通して探究し、それらの構造や変化の仕組みを理解させ、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識させる。
6. 生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、観察、実験などを通して探究し、生物界の多様性を理解させる。

## 2 授業の特徴・留意点

- 1.それぞれの学習項目において、生徒が身近に感じられる話題との関連を重視する
- 2.講義においては、疑問に感じたことはいつでも質問するよう促す。
- 3.生きた知識が得られるように、できる限り多くの実験・実習・映像教材を取り入れる。

## 3 指導計画

年間指導計画に準ずる

## 4 提出物等

授業プリント 実験プリント

## 5 評価方法とその観点

## 評価方法

- 下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。
- (1)授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、生物への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に関心・意欲・態度の項目を評価する。
  - (2)授業プリントの記載内容  
授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。
  - (3)観察・実験等  
観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、思考・判断、観察・実験の技能・表現に関する配分が大きい。
  - (4)教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
  - (5)中間・定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、思考・判断、知識・理解に関する配分がもっとも大きい。

## 6 学習のアドバイス等

- 1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。
- 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
- 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。